

タイ便り No.4

みなさんご存じの通り、バンコク市内ではデモ隊が一部道路を引き続き占拠してタイ国内の大きな問題となっています。時にデモ隊と治安部隊が衝突したり、爆発騒ぎが起こったりして不穏な空気が流れていると外部からは思われているバンコク市内です。

一進一退のデモ隊問題。国連付近と繁華街の2箇所占拠から、繁華街の一箇所占拠へと、少しではありますが変化があり、「解決の日が近づいているのかな？」と期待を寄せる日々です。たとえデモ隊が職場の隣を占拠していようと基本的に通常通りの業務を行っていた国連関係者にとっても、バンコク市内の住民達にとっても、「一日も早く、平穏な日々が戻ってくるように」と願い続ける毎日です。



デモ隊が去って静かな国連前

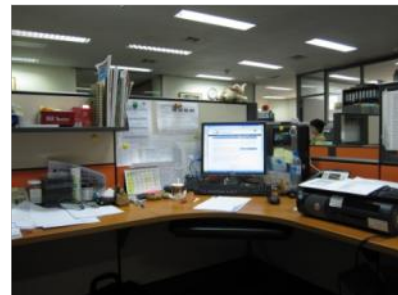
1. 書き上げた提案書はどこへ行った？

何度も訂正・加筆を同僚の協力を得つつ、遂に提案書を書き上げました。所長へ行き着くまでもに何度も修正や話し合いの場が持たれて、“ああ！いっそのこと所長へ直接出しちゃいたい！”と思うことも度々。しかし、提案書の内容自体が同僚の協力無しでは実現できない内容なので、そこはジッと我慢をして、彼らの協力を尊重して慎重に進めました。

当初、自分自身で予定をしていた時期から遅れること数ヶ月。やっと想いで所長へ提出を果たし、話し合いの時間を採ってもらいました。ただでさえ忙しい所長、なるべく内容を一点に絞って書き上げた提案書は、無事に所長の所まで行き着きました。その後、どういった展開になるのか再びやきもき。ここもジッと我慢！昨年、エリトリアにて大きな問題が発生したときに、我慢を出来ずに本部へ嘯みつけたのが失敗だった経験を踏まえて、ジッと我慢をし続けました。“そろそろ良いかな？”というタイミングにて、所長に「提案書はこの後どうなりますか？」と直接サラッと聞くと「私がコメントを付けて本部へ転送します」とのこと。おお、なんと頼もしい一言！

自分自身が書いたのすら忘れかけた頃、本部 IT セクションからコメントともにメールが到着「陽介の提案書はよく書けている。私の上司とも共有をしておく」との事。IT セクションを飛び出して、本部総務部のトップへと渡っていきました。

提案書の内容が実現する確率は高くなくとも、組織の問題点をキチンと把握して、解決策を具体的に書面に興すことを評価してもらえたらと願わずにいられません。つい先日、契約書にサインをした UNFPA APRO（現在の職場）との直接契約。この契約期間中も果敢に提案書に書き上げた事を含めて、果敢に挑戦していこうと思っています。



何が自分に出来るか？考える日々

2. サイクリング

これまでの海外での任地、ブータンの首都 Thimphu(2,300m)、エリトリアの首都 Asmara(2,300m)、ウガンダの首都 Kampala(1,300m)とどこも標高（いずれの標高もおおよそ）が日本で過ごした標高に比べて高い土地でした。標高が高いと基礎代謝が高くなるらしく、お腹が減ったら食べただけご飯を食べていても太ることもなく、体重を気にせずに暮らしていました。しかし今は Bangkok。かなり標高は低いです。でも食べ物は今までのどの海外よりも美味しい。昨年7月末に赴任してから、年末になる頃には体重が約10kg増えていました。流石に危機感を感じ始めて食べる量を減らしたり、運動を始めてみたりして、徐々にではありますが体重が減少傾向にあります。



荷物車内の自転車



Hualamphong 駅

その運動の一つ、自転車でバンコク市内を週末に乗り回しています。だいたい一回乗り回すと 30~40km 走っています。流石に毎週、そして同じ様なところを走っていると飽きるもので、一度 Ayutthaya まで自転車を列車に載せてサイクリングへと出掛けました。

Bangkok というより、Thai の中心的な駅 Hualamphong 駅にて自転車を列車へ積み込みます。片道人間は BHT12 に対して、自転車は BHT90 も掛かります。さながら“御自転車様”。Ayutthaya は普段の景色と違い緑が多く、そして車の数も少ないので気持ちよく走り回れます。しかしそうは言っても、ここも Thai である事に変わりはありません。暑さで体力を激しく消耗してしまいました。早めに帰ろうと思っても、駅で「自転車を積める列車は次の次だよ」と言われて、ひたすら駅のベンチで待つこととなりました。やっと来た列車にしてもクーラーどころか扇風機も無し。ああ、クーラーが恋しい。



渡し船も自転車と共に



切符の自転車

国連人口基金アジア・太平洋地域事務所
情報ネットワークオフィサー
瀬畑陽介